



【編集】  
富山国際大学  
現代社会学部

富山国際大学

東黒牧ニュース

Toyama University of International Studies

## キノコ園

梅雨空が続くと、林の中では、キノコが一斉に生え始めます。

一号棟の前の竹林では、真っ白なキノコと真っ赤なキノコが現れ、気付いた人も多いかと思います。白いのは、沢山のツノが生えておりシロオニタケといいます。赤いのは、白い卵からカサがでてくるのでタマゴタケと呼ばれ食用になります。

グランドの北側の雑木林の中では、この2種類を含めてさらにいろいろなキノコが生えています。



シロオニタケ



タマゴタケ

特徴のあるキノコを並べますと、まずキヌガサタケがあります。白い網目がドレスに見たてられキノコの女王とも呼ばれるようです。マンネンタケは靈芝とも呼ばれ、吉兆のキノコで床の間に飾られることもあるようです。テングタケは代表的な毒キノコです。コフキササルノコシカケは、癌に効く成分があるとされブームになったこともありました。キツネノエフデは、その名のとおり筆状のキノコです。サンコタケは、密教で使う三鈷の形からきているそうです。

多くのキノコは環境が変わるとすぐに消えてしまいます。今の内に、キノコ園を楽しんでください。



テングタケ



コフキササルノコシカケ



キツネノエフデ



キヌガサタケ



マンネンタケ



サンコタケ

